

大石知事との面会                    2022年 11月24日(木) 13時～14時  
長崎県北振興局2階 入札室

“#ダムより花を”という市民グループの森田といいます。  
今日は私たちの声を直接聞いていただく機会を作っていただきありがとうございます。

私たち“#ダムより花を”は、これまで社会活動になじみのなかった特に40代以下の、子育て世代や大学生などがかわりやすい活動を行っています。  
活動メンバーは20名ほどで年齢も立場もそれぞれで、大学生から私のような年代までさまざまです。

今日は石木ダムについて、なんの肩書もない普通の市民の多くがどう考えているのかをお伝えしたいと思って、ここに来ました。

私たちはつい先日、11月13日(日)に佐世保の四ヶ町アーケードでシール投票を行いました。その結果がこれです。約100人に聞きました。

「石木ダムは必要と思いますか？」

いる12%  いらぬ70%  分からない18%

「佐世保は水不足だと思いますか？」

思う18.5%  思わぬ81.5%

9月の広報佐世保で、佐世保市の水不足や石木ダムの必要性を大きく取り上げてあったりダム建設促進集會をされたりしたあとだったので、私たちもどんな結果が出るのだろうと思っていました。

こちらは、2020年2月に同じ四ヶ町アーケードで行ったアンケートの結果です。約200人に聞きました。

「ダムは必要と思いますか？」

思う18%  思わぬ53%  分からない29%

「佐世保市は水不足だと思いますか？」

思う19%  思わぬ64%  分からない17%

むしろ、石木ダムはいらぬという人の比率は増えています。

私たちの街頭アンケートではありません。

県民に対しての意識調査ですが、長崎新聞社が2022年に行ったものでは  
必要20%  不要31%  分からない49%

企業のパタゴニアが2017年に行ったものでは

必要22% 不要28% 分からない50%

佐世保市民に対しては、2010年に佐世保のタウン誌ライフさせぼが行っていて

必要7% 不要87% 分からない6%

という結果もあります。

市民の意見は分かれています、このように石木ダムはいらないとか分からないという意見が多数派です。

子どもたちには50年も前に計画されたダムではなく、こうばるのような多様な生き物がいる自然や持続可能な里山の暮らしを残したいという子育て世代や、こうばるの人たちを苦しめて追い出してまで作ったダムの水は欲しくないという若い人たちもいます。

アルカスさせぼで行ったメッセージ展では「357億円もの私たちの税金を使うのだったら、もっと必要なことに回してほしい」という声がたくさん聞かれました。

若い大石知事にはこの県民、佐世保市民の声を聞いていただきたいです。